

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

| | |
|---------|---------------------|
| 記入年月日 | 平成 20 年 12 月 20 日 |
| 事業所名 | グループホームチアフル音明かり |
| 事業所番号 | 2372201109 |
| 記入者名 | 職名 ハウスリーダー 氏名 森 まり子 |
| 連絡先電話番号 | 0586-86-8512 |

(様式1)

自己評価票(参考例)

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「生きているって素敵！」と思える暮らし、自分らしく生きる事に誇りを持ち、自分でやれる喜びを感じられる暮らしのサポートを行い、家族や地域との連携を大切にする理念を持っている。 | ○ 「虐待行為は絶対に許しません」「生きているって素敵！」と思える家を合言葉に、毎月のミーティングで読み上げ職員間で確認している。 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者、職員は、「生きてるって素敵」と実感出来る家の実現の為、利用者様が日々明るく、楽しく、やりたい事を実現して行ける様、一人ひとりが理解を深め意識向上に取り組んでいる。 | ○ 月1回のミーティングやカンファレンスなどで職員全員が、理念についての理解を深めたり、個別で勉強会を行っている。 |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 毎月発行のチアフル新聞にホームの基本理念を掲示している。ご家族には手紙、面会時に随時説明し納得頂いている。行事前には地域に声掛け案内を行い、ホームへの理解を深めて頂いている。 | ○ 買物や、外食、外出の際にも、地域の方に気軽に挨拶、世間話や冗談など言いあったりし、とても良い雰囲気である。ご家族様にはいつでも気軽に立ち寄って頂ける様努めている。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩や、買物、外出時に挨拶したり、新鮮な、採れたての野菜などを差し入れて頂いたりしている。地域の一員として町内会に加入している。 | ○ 施設の利用者様と名前は分からなくても、顔を覚えて頂き、職員が居なくても会話を楽しんで見える。昨年よりも、大分近くなって来ている。 |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域での、文化祭、左儀長、七夕、クリスマス会等児童館訪問などの行事には積極的に参加し地域との交流を深めている。 | ○ 今まで同様出来るだけ多くの地域行事に参加し、地域住民との交流を深めて行きたい。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|--|------------------------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域推進委員会で散歩道沿いの神社境内に休憩用の椅子を提案し検討したり、事業所の行事前には予め地域の方に声掛けを行い、利用者と一緒に参加して頂き協力を頂いている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 全職員が自己評価を行い、サービスの質の向上に努めている。前回の評価を振り返り、改善に向けて取り組んでいる。 | | |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進委員会では包括支援センター、地域の代表、家族様にも参加して頂き、活動状況や各ユニットの取り組みを報告し、ご意見を頂いている。 | | |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 管理者が主に市町村の連携に取り組んでいる。 | | |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 研修や勉強会には一人でも多く参加して貰い、職員の一人ひとりが理解を深める様に努めている。 | | |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | ミーティング、勉強会、朝の申し送りの等の場で日々話し合い確認している。 | ○ | 虐待については意見や考え方に個人差がない様、日々の業務の中で職員同士が話し合い気をつけている。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>契約時に重要事項等十分な説明を行い、ご理解を頂いている。契約後も不安な事や疑問点があれば随時説明し納得頂いている。</p> | |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>日常的に利用者様の会話、表情、様子を観察しながら本人の訴えを傾聴している。問題があれば職員間で検討、管理者に報告し改善を行っている。</p> | <p>○</p> <p>言葉の訴えだけではなく、態度の変化にも気づき、対応出来る様にしている。とにかく職員側より話掛けていく。</p> |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>面会時や毎月発行のチアフル新聞等で利用者の近況を随時報告している。金銭面の管理は、原則としてホームで行い毎月使用合計を明記しご家族に報告している。</p> | |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>ご家族の意見には十分に耳を傾け、職員や管理者に報告、問題解決に努めている。</p> | <p>○</p> <p>家族の訴えなど申し送りノートに細かく記入、ミーティング時に話し合い、全職員が把握出来る様にしている。</p> |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>ユニットミーティング、リーダーミーティング等を定期で実施、意見を出し合い反映されている。</p> | |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>無理のない勤務シフトとなる様工夫されている。又管理者は状況の変化に応じて柔軟な対応が出来る。一日を通し、その時々状況に合わせた職員の協力や調整が出来ている。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|--|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 移動や離職の前に、業務の引継ぎを行い、入居者が不安にならない様配慮している。利用者の影響を考え職員同士が話し合い、対応している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 事業所内外の研修を受ける機会がある。研修後はレポートを提出し、全職員が閲覧出来る様になっている。 | ○ | 職員が均等に意識向上が出来る様、研修、勉強会には出来るだけ積極的に参加して貰っている。参加者に制限がある時は、順番に参加して貰っている。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他の施設の関わりや、グループホーム同士の交流で関係作りを行っている。又、利用者の病院受診時など、他の同業者と顔合わせする事も多く、色々と参考にしている。 | | |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 各ユニットとの食事会、定期で親睦会があり大笑いしたり、グチを言い合ったりし気分転換が出来る。 | | |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 管理者が職員の状況や様子を把握し、声を掛けたり相談に乗ったりし、職員が快く自らの力を最大限に発揮出来る様配慮している。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--|
| II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 管理者、ユニット長は事前面談で本人の状況を把握し、気持ちを受け止め理解する努力をしている。体験入居の希望があれば受け入れ実施している。 | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | 管理者、ユニット長はこれまでの家族の苦悩や今迄のサービス利用状況の経緯をゆっくり聞く様に行っている。家族が求めている事を理解し、受け止める様努力している。 | ○ 生活記録に本人の希望、要望、困ったこと、嬉しい事、職員が気付いた事、本人が言った事等の記入欄を設け、全員が情報を共有している。 |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 管理者、ユニット長は本人の認知症状や身体能力の見極めとご家族の希望を含め、十分な話し合いを持ち、必要なサービスについて話合っている。 | ○ 本人の自立支援に向け、ご自分で出来る処はなるべくご自分で行って頂ける様配慮している。 |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用者にはすぐ馴染める方と、そうでない方が居られるので他者とのコミュニケーションがスムーズに取れる様配慮している。ご家族にも生活の近況を報告し安心して頂いている。 | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 本人をよく知り、思いを共有して互いに支え合える関係が築ける様努力している。 | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|--|------------------------|---|
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 利用者のこれまでの生活や、家族の介護で苦労された話などを伺い、共に本人を支えている。日々の生活の様子を報告し情報の共有に努めている。 | | |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 双方の思いを受け止め、両者の思いが結び付く様な働きかけに努めている。 | ○ | 夏祭り、運動会等にお誘いし利用者のご家族と一緒に楽しめる行事を企画している。又、遠足やランチ等へも気軽に参加して頂ける雰囲気作りに努めている。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方からの電話や手紙、訪問など大切にしている。手紙の返事や電話での会話も支援している。 | ○ | 利用者の友達、大切にしていた関係が途切れない様支援していく。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士の関係性について情報を共有し、入居者同士の関係が上手くいくよう職員が調整役となって支援している。入居者が孤立しない様支援している。 | | |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | お会いした時は此方から挨拶をする様にしている。契約が終了した後でも、家族からの相談や要望に応じ、支援する体制にある事をお伝えしている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|---------------------------------------|---|--|--------------------------------|--|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人の意向を大切にしている。家族とも話し合い相談しながら検討している。職員の業務優先にならぬ様利用者からの意向を聞き逃がさない様に努めている。 | ○ | 困難な問題が起きた場合は管理者を交え職員同士話し合い本人にとって一番良い案を出せる様に検討している。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居前の介護サマリや本人の生活歴、食べ物の好み、生活環境などをご家族の来訪時に伺ったり、本人との会話の中で把握に努めている。 | | |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 一人ひとりの生活のリズムを理解するとともに本人の有する力を把握し、その人らしい生活が出来る様支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人やご家族からの要望を介護計画に反映させている。検討課題を元にミーティングを定期で開き、他職員からの意見やアイデアを反映した介護計画を立てている。 | | |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 基本的には三ヶ月に一度見直しを行うがそれ以外にも入居者に変化があった場合は期間を満たさなくても現状に即した新たな介護計画を作成している。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|------------------------|--------------------------------|
| 38 | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 | <p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 | <p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> | | |
| 41 | <p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> | | |
| 42 | <p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|------------------------|--|
| 43 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | | |
| 44 | <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p> | | |
| 45 | <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p> | ○ | 糖尿病の食事面から浮腫重症の利用者、職員が気がついたわずかな事でも看護師に報告しすぐに対応が出来る。 |
| 46 | <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p> | | |
| 47 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p> | | |
| 48 | <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p> | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|---|------------------------|---|
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | ご家族と十分な話し合いや情報交換を行い、移り住む先へはこれまでの暮らしやケアの情報を提供し、配慮して貰える様働き掛けて行く。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 本人の尊厳を大切にプライバシーの保護に努めている。 | | |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 本人の思いを汲み取り、本人が納得した上で自己決定出来る様声掛けをしている。 | | |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 散歩や日々の生活の中で個人の好みや希望を把握し、出来るだけ本人の思いに沿った支援が出来る様努めている。 | ○ | 朝食時、休日は何をやりましょうか？と尋ね、希望、要望を出来る限り受け入れているが100%まで行かず次回にのぼすこともある。利用者も気持ちよく納得され「待つわ」と言われる。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 買物や外出の際には化粧をして出掛けて頂いたり、美容院は本人の望まれる店にお連れしている。ご自分で服装を選べない方には職員が助言を行いその人らしい暮らしが出来る様支援している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|---|--|------------------------|--|
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 献立から買物、調理に至るまで、出来るだけ多くの利用者に関わって頂ける様にしている。食べたい物や調理の味付けなど、利用者の意見を取り入れ調理している。食事中は冗談等を言い合い全員で盛り上がる場面がある。 | | |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 職員は本人の好み、体調を把握し、個々に合わせた対応をしている。コーヒーやお茶、飲酒も本人の希望に沿って日常的に楽しめる様対応している。 | | |
| 56 | ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 出来得る限りトイレでの排泄を促し、オムツの使用は極力避ける様にしている。個々の排泄パターンを把握し、その方の尊厳に配慮しながらさり気なくトイレ誘導をする事で失敗を減らせる様支援している。 | | |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 本人の希望や体調に合わせてゆっくりと入浴して頂いている。上手に声掛けを行い、気分良く入浴を楽しんで頂ける様にしている。 | ○ | 夜間時、湯船につかり歌を唄ったり、昔話を聞いたり、悩みの相談を受けたりと、利用者の会話に耳を傾ける場所としても活用している。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 出来るだけ日中の活動を促す様にしている。夜間落ち着かず眠れない方にはお茶をすすめたり、ゆっくりと話をお聞きし、安心して頂ける様支援している。 | ○ | 夜間に眠れない様子がうかがえた場合、職員がゆっくりと話を聞き安心して頂ける様努めている。一人が怖くて眠れないと訴える時は、職員が横で一緒に添い寝する場面もある。 |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者が持っている得意分野での役割などが自然と決まっており、動いてみえる。カラオケ、ビーズのアクセサリ作り、習字、手芸、コーラス、日々楽しみ多く過ごして頂いている。 | ○ | 日中はなるべく他者との交流を促し、一人で居室に籠らない様努めている。外出、映画鑑賞、買物等個別ケアの取り組みも行い気分転換して頂いている。 |


| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|---|---|------------------------|---|
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 何人かの利用者は財布を持ち、毎回の買物時、自分の日用品などを購入されている。他の利用者もバザーに出掛ける時は小額のお金を持ち、自分の気に入った物を購入されている。 | ○ | お金に関しては自己管理できている方と、それが不穩の原因になる方もあり、配慮しながら行っている。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | モーニング、ランチ、ディナー、買物、遠足等戸外に出掛ける機会が多くなっている。それ以外でも季節や天気の良い日など、利用者の希望を聞き入れドライブを兼ね、出掛けている。 | ○ | その時の利用者の体調などに配慮し、車椅子参加となる事も多いが、利用者同士で助け合いながら気分転換にも繋がっている。今後も積極的に活動に取り入れて行きたい。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者の要望を取り入れ、映画鑑賞や、遠足、芝居や温泉と毎月の遠足で、普段行けない所も選択肢に入れ、出掛ける様になっている。 | ○ | 全員で行けない所などは職員が勤務が休みの時、ボランティアとして個別に出掛け支援している。お墓参りなどは家族と行かれる。 |
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 殆どの利用者のご自分で電話を掛ける事が出来ない為、職員がダイヤルを押し支援している。手紙もあて先、住所を職員が手伝い、内容は自分で書かれる。 | ○ | 不穩時、子供や孫の声を聞き、落ち着かれる利用者も見え、其の為に電話を利用する事がある。 |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 家族や知人、誰もがいつでも気軽に訪問出来る様、雰囲気作りや信頼関係に努めており、職員は勉強会の中に接遇マナーなども取り入れ勉強している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は行っていない。危険を感じた利用者には拘束しないで職員が付き添って目を離さず介護を行っている。 | ○ | 勉強会やミーティングで全職員が身体拘束について話し合っている。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|--|
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 原則として鍵を掛けないケアを行っているが、利用者の帰宅願望、不穏酷い時のみ利用者の安全を配慮しやむを得ず施錠する事がある。 | | |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 日中は入居者と同じ空間で記録を書くなどし様子の把握に努めている。夜間は定期で巡回し起きた時には直ぐ対応出来る様居場所を工夫し安全に過ごして頂ける配慮している。 | | |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 全てを取り除く事はなく、入居者の状況に合わせて必要と思われる物は保管、管理をしている。 | ○ | 洗剤を歯磨き粉と勘違いし使用する処を発見、それ以降特に注意しながら見守っている。手芸用の針などは終了後、必ず本数を確認、ユニットで保管している。 |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 日々のヒヤリハットを記入し再発防止に向け話し合い職員の共通意識を図っている。行方不明者が出た場合には、別のユニットによる応援体制がある。又地域の方の協力体制も大きい。 | ○ | 転倒、転落事故などが起きた場合、事故報告書に記入し再発防止に努めている。随時事故防止対策研修に参加し、事故防止に対する知識や認識を高めている。 |
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 利用者の急変や事故発生時に備え、講習会が開かれ全職員が訓練を受けている。また、救急救命研修会にも積極的に参加し勉強している。 | ○ | 急変時にあたる職員は、同じ顔ぶれ多く、訓練の成果が表れているが、今後は全職員が何時でも対応出来る様取り組んで行きたい。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 非難訓練を定期的に行い避難経路の確認を行っている。地域の方との交流も多く、町内会長や老人会の方より、避難場所のトイレも老人用に、和式より洋式に変えて頂く話も出ている。 | ○ | 月一回、定期的に避難訓練を行うことで職員が災害の危険性や避難路を確認し、いざと言う時にとっさの判断で動きが取れる様、努めている。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|------------------------|---|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている | 入居者ひとり一人に起こりえるリスクについて把握しており、入居前、入居後も家族の方に対応策を説明し、起こりうるリスクを最小限にとどめている。 | ○ | 浴槽内の滑り止めや、居室床での転倒、ベッドからの転落防止等に努めている。危険が伴う所へは、随時、職員が行動を共にし安全の確保に努めている。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 毎朝バイタルチェックを行い表情や排泄物等からも体調の変化を観察している。情報は職員で共有し、身体異変の早期発見を心掛けている。状況に応じ医療の受診を支援している。 | | |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の使用目的を把握し、内服に変更があった場合は状態の変化に注意して観察する様に心がけ、症状が変化した場合は医師に報告し指示を受けている。 | ○ | 薬の変更があった場合、申し送りノートや口頭にて知らせ、職員が把握している。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 体操や散歩にて身体を動かし、水分補給や食物繊維の多い野菜を主に調理している。デザートや果物も毎日欠かさずするようにしている。便秘気味の方には、排便を促す為の好みの飲食物をお勧めしている。 | | |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 食事後の歯磨き、義歯の手入れも必ず職員が付き添い、磨き残しがないようにしている。義歯は毎晩ポリドントを使用、翌朝まで預かる。舌の手入れ<口臭の原因>にも注意を払っている。 | ○ | 口腔ケア・・・舌の臭いや洗浄の支援も併せて行っていく。 |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎日の食事、水分摂取量を記入している。毎月の体重測定を行い、食事量や栄養バランスに配慮し調理している。糖尿病の方には食材、食事量、調理法等を配慮しお出ししている。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------------------------|--|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | 感染症に対するマニュアルが作成されている。入居者、職員ともにインフルエンザ予防接種を受けている。 | ○ | MRSA、HIV、疥癬、水虫、結核など感染症に対して勉強会や研修にも積極的に参加している。 ※消毒液は病院と同じ塩素系のハイターをうすめて使用している。30分以上の時間を守っている。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | まな板、ふきんは毎日消毒し清潔を心掛けている。食材は使い切り二日に一回の割合で買い出しに出掛け新鮮な物を選んでいる。冷蔵庫内や水回りの清潔を保っている。 | ○ | 毎回の食事の残り物は処分し、次の食事に回さない様にしている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関には季節の花が飾っており、お水の交換は毎朝利用者が実施、鍵も施錠せず、誰もが自由に入出入りできる様になっている。 | ○ | 玄関はその家の顔だと言われる利用者の意見を取り入れ、掃除も毎朝徹底して行っている。家族や近隣からの受けも良い。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が手芸、習字、趣味で作成した作品等を随時フロア等生活空間に提示している。又、月一回の遠足の写真や、チアフル新聞を貼り替え、生活感や季節感を取り入れており、ご家族にも好評である。 | ○ | 全利用者の居室の入り口には色とりどりののれんを使用し、洗濯室や脱衣所にも季節に応じたのれんを飾っている。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 仲の良い気が合った利用者が、一緒に座ったりテレビ観賞できる広いソファが設置してある。食事の席も夏と冬に移動し、入居者が居心地良く毎日が過ごせる様工夫している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|--|------------------------|--|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には本人が使い慣れた物を持ち寄り、中には仏壇や位牌まで持って見える。毎朝のお水交換やお経を唱え、在宅での延長となっている。季節の花を飾ったりし、本人が居心地良く過ごせる様十分に工夫がなされている。 | ○ | 利用者にとって危険、不穩の原因となる物は家族と相談しながら解決している。中には仏様のお骨まで持って来られる利用者も見え、管理者、職員共々ご家族と相談中である。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 空気の入換えや温度、湿度調節について日常的に配慮出来ている。冬季には加湿器や濡れタオルを使用し乾燥を防いでいる。 | ○ | 利用者の体感温度に配慮しながら温度・湿度調整を行っている。※夜間帯も巡回時に温度調節に留意し小まめに調節を行っている。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 室内は開放的でトイレも車椅子や、緊急時のストレッチャーの移動も可能となっている。調理場では全員が作業出来る様になっており、毎食の準備も全利用者で活用している。一人ひとりが安全に自立した生活が送れる様ベッドや家具の位置の配置をその人に合わせ工夫している。 | ○ | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | 本人の得意分野を活かし、混乱や失敗をカバーしながら支援している。特に調理準備などは先ず本人のやる気を大切に、手伝われた後は職員が利用者に対し「ありがとうございます」とお礼の気持ちを伝えている。 | ○ | 本人の出来る事を見つけ、やる気につながる言葉掛けに気をつけている。洗い上がった洗濯物は出来ない方をカバーしながら、利用者だけで仕分けし名前を見て勝手に片付けている。 |
| 87 | ○建物の外周や空間の活用 建物の外周やベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 洗濯物を干しに行ったり、日光浴をしたり、ベランダでお茶やお菓子を楽しんだりベランダを活用している。外回りには、果物の木が何本もあり、桃、さくらんぼ、野菜など収穫時は他のユニットの利用者も訪れ一緒に収穫を楽しんでいる。 | ○ | 中庭の花壇には季節の花が色とりどりに花を咲かせ、ご家族も一緒に花壇の手入れのお手伝いして下さっている。 |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|------------------|--|---|
| 項目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者がその人らしく《生きてて良かった》と思える様支援をして行く。虐待行為は絶対に許しません。今後も”真心と思いやりが伝わる介護”に努めて行きます。